

事務局報告

第45回(2009年度第3回)幹事会議事要録

日時:2009年10月3日(土)13:30~17:00

場所:中央大学理工学部教養生物学実験室2502教室

出席者:南木会長,守田事務局長,那須庶務幹事,工藤会計幹事,佐々木(由)広報・渉外幹事,能城編集委員長,大井編集副委員長,山本行事委員長,佐々木(尚)行事副委員長(以上新幹事含む旧幹事),西田事務局長,近藤行事委員長,藤井行事副委員長(以上新幹事)

報告事項

1. 会員動向:現在の会員数が報告された(名誉会員3名,賛助会員1社,一般会員362名,学生会員28名,団体会員8団体)。
2. 会費長期滞納者への対応:会費長期滞納者8名が報告され,次回総会および評議員会で除名の審議を行うことにした。
3. 植生史研究の編集状況:第17巻第2号を10月7日に刊行することが報告された。現在査読中の論文は3本,投稿中2本しかなく,継続して会員の積極的な投稿を促す必要がある。
4. 会長・評議員選挙報告:第7期会長選挙開票を2009年5月24日(日),評議員選挙開票を2009年8月23日(日)に総合研究大学院大学葉山高等研究センター会議室にて実施したことが報告された。会長には南木睦彦会長が再選し,評議員には高原光,百原新,鈴木三男,植村和彦,松下まり子会員が選出されたことが報告された。
5. 第29回談話会報告:「植生史解明のための室内実験法3—位相差顕微鏡を用いた花粉の観察・同定—」が2009年7月18~19日に岡山理科大学で開催されたことが報告された(講師:守田益宗氏)。参加人数は5名。
6. メーリングリスト登録状況:ニュースレターのメール発送のためのアドレス登録状況が報告された。登録されていない会員が約160名あることが報告され,次号会誌発送時に最後のお知らせを行うことにした。
7. 第24回熊本大会準備状況:一般講演の申し込みを締め切り,ポスター27件,口頭16件の申し込みがあったことが報告された。参加申し込みは現在のところ53名。
8. 第30回談話会(阿蘇巡検)の準備状況:現在のところ,案内者を含めて22名の参加申し込みがあったことが報告された。

審議事項

1. 第25回大会:名古屋大学開催の案が出され,了承された。大会実行委員長に中村俊夫氏,実行委員に南雅代

氏,山本直人氏,および行事委員。日程は次回大会までに決定する。

2. 第31回談話会:「植生史解明のための室内実験法4—木材同定—(仮題)」が提案され,実施することにした。講師は能城修一氏,場所は中央大学か森林総研を予定,日程は未定。
3. 奨励賞の規定改正および論文賞の提案:奨励賞改正および論文賞新設に関する案を再審議した。論文賞新設に伴い,奨励賞との区別が曖昧になることから,奨励賞の位置づけを再度検討することにした。
4. 学会費の改正:学会費を一般6000円,学生3000円,団体8000円,賛助30000円に改正する案を,次回評議員会および総会で提案することにした。

第46回(2010年度第1回)幹事会議事要録

日時:2009年11月6日(金)15:30~17:30

場所:熊本大学埋蔵文化財調査室

出席者:南木会長,西田事務局長,那須庶務幹事,工藤会計幹事,佐々木(由)広報・渉外幹事,能城編集委員長,大井編集副委員長,藤井行事副委員長(以上新幹事),守田事務局長,山本行事委員長,佐々木(尚)行事副委員長(以上旧幹事)

報告事項

1. 会員動向:2009年9月30日現在の会員数が報告された(名誉会員3名,賛助会員1社,一般会員363名,学生会員32名,団体会員8団体)。
2. 会費長期滞納者への対応:会費長期滞納者6名が報告され,2009年12月15日までに納入がない場合は,除名することとし,評議員会および総会で承認を得ることにした。
3. 植生史研究の編集状況:第17巻第2号を10月7日に刊行したことが報告された。
4. 第25回大会を2010年11月27日(土)・28日(日)に,名古屋大学において開催することが報告された。
5. 第31回談話会を2010年7月17日(土)・18日(日),中央大学において開催することが報告された。
6. メーリングリスト登録状況:ニュースレターのメール発送のためのアドレス登録状況が報告された。登録されていない会員が約140名あることが報告され,大会開催期間中に会員に呼びかけることにした。
7. 2009年度決算報告:2009年度の決算が報告された。

審議事項

1. 奨励賞の改正および論文賞の新設:奨励賞改正案およ

- び論文賞新設案を表彰規程および内規の改正を含めて審議し、幹事会案を評議員会および総会で提出することにした。
2. 学会費の改定：学会運営事務の負担軽減にあたって事務委託費用を確保するため、学会費の改定案を会則の改正を含めて審議し、幹事会案を評議員会および総会で提出することにした。
 3. 2010年度予算案：2010年度予算案を審議した。
 4. 自然史学会連合への加入：自然史学会連合への加入を審議し、2010年度に加入する方向で評議員会および総会で提案することにした。
 5. メタセコイアシンポジウム準備委員会の設置：会則第7条bに基づき、第3回国際メタセコイアシンポジウム準備のための委員会を設置することにし、評議員会および総会で報告することにした。
 6. 評議員会・総会資料の確認：2010年度評議員会・総会資料の確認を行い、修正した。

2010年度評議員会議事要録

日時：2009年11月6日（金）18:00～19:30

場所：熊本大学埋蔵文化財調査室

出席者：植村和彦、鈴木三男、高原 光、百原 新各評議員、南木会長、西田事務局長、那須庶務幹事、工藤会計幹事、佐々木広報・渉外幹事、能城編集委員長、藤井行事副委員長、守田事務局長（旧幹事）

1. 2009年度の事業報告および会計報告・会計監査報告（総会資料）を承認した。
2. 2009年度事業計画の幹事会案を審議した。主な案件は以下の通りである。
 - 1) 奨励賞の改正および論文賞の新設について、表彰規程の改正を含めて幹事会案を承認した。
 - 2) 学会費の改定について、一般会員、学生会員、団体会員については幹事会案を承認した。賛助会員については、現行のまま据え置きにすることとした。
 - 3) 自然史学会連合への加入について、幹事会案を承認した。
 - 4) メタセコイアシンポジウム準備委員会の設置について、会則第7条bに基づき、第3回国際メタセコイアシンポジウム準備のための委員会を設置することにした。

2010年度総会議事要録

日時：2009年11月8日（日）11:00～12:00

場所：熊本大学工学部百周年記念館

議長：寺田和雄

報告事項

1. 2009年度事業報告

1-1. 庶務

1) 会員動向（2009年9月30日現在）：名誉会員3名、賛助会員1社、一般会員363名、学生会員32名、団体会員8団体（前年度比：名誉会員±0名、賛助会員±0社、一般会員-10名、学生会員-1名、団体会員±0団体）。除名会員2名。

2) 2009年度評議員会を2008年11月15日、総会を11月16日、パルセいいざかにおいて開催した。

3) 第7期会長選挙開票を2009年5月24日、評議員選挙開票を2009年8月23日に総合研究大学院大学葉山高等研究センター会議室にて実施した。選挙管理委員長：清永丈太。

1-2. 広報・渉外

1) ニュースレター16号・17号・18号・19号を編集・刊行した。

2) ホームページの管理と更新を行った。

3) ニュースレターのメーリングリストによる配信を準備し、19号より配信を開始した。

4) 企業広告の募集を行った。

1-3. 編集

会誌「植生史研究」第16巻第2号、第17巻第1号、第17巻第2号を刊行した。

1-4. 行事

1) 第23回大会を2008年11月15・16日、パルセいいざかにおいて開催した。

大会実行委員長：木村勝彦。大会実行委員：大山幹成、箱崎真隆、吉田明弘、山本直人、佐々木尚子。参加者：92人。

2) 第29回談話会を2009年7月18・19日、岡山理科大学において開催した。

テーマ：植生史解明のための室内実験法3—位相差顕微鏡を用いた花粉の観察・同定—

講師：守田益宗。参加者：5人。

3) 第24回大会を2009年11月6～8日、熊本大学において開催すべく準備した。

4) 第30回談話会を2009年11月8日・9日、熊本県阿蘇市において開催すべく準備した。

2. 2009年度決算報告・会計監査報告

1) 2009年度決算報告（2008年10月1日～2009年9月30日）次頁参照。

2) 会計監査報告

2009年度の決算が報告され、小椋純一会計監査より適正に処理されていたことが報告された。

2009年度決算報告(2008年10月1日～2009年9月30日)

収 入	2009年度予算案	2009年度決算	
会費	1,542,000	1,244,000	
団体・賛助会員会費	63,000	48,000	
会誌売上	100,000	127,900	
特別号(2)売上	180,000	66,250	
利息	1,000	831	
前年度繰越金	1,941,097	1,941,097	
収入合計	3,827,097	3,428,078	
支出			
会誌印刷費 16(2)	348,600	348,600	2008年11月刊行
会誌印刷費 17(1)	380,000	307,650	2009年3月刊行
会誌印刷費 17(2)	380,000	238,875	2009年9月末刊行
会誌印刷費 18(1)	380,000	0	未刊行
会誌郵送費 16(2)	37,810	37,910	
会誌郵送費 17(1)	38,000	38,730	
会誌郵送費 17(2)	38,000	0	未発送(2010年度予算で発送)
会誌郵送費 18(1)	38,000	0	未刊行
会誌・バックナンバー郵送費	15,000	13,220	
ニュース紙等郵送費	140,000	65,090	NL15・NL16(NL17・NL18は会誌と一緒に発送)
郵送費	25,000	42,055	
郵送補助(人件費)	120,000	114,000	
一般事務経費	60,000	48,927	
幹事会出席旅費	400,000	322,600	会計監査旅費, 幹事会旅費(名古屋1回・東京1回(新旧合同))
封筒印刷費	80,000	117,600	
大会準備金	100,000	0	未執行
大会準備貸付金	100,000	0	未執行
選挙関連郵送費	84,000	67,955	
会長・評議員選挙立ち会い人旅費	0	15,840	
支出合計	2,764,410	1,779,052	
次年度繰越金(予備費)	1,062,687	1,649,026	

2010年度予算案(2009年10月1日～2010年9月30日)

収 入		
会費	2,271,000	一般会員6000円×363人, 学生会員3000円×31人として計算
団体・賛助会員会費	79,000	団体会員8000円×8団体, 賛助会員15000円×1社として計算
会誌売上	100,000	
特別号(2)売上	50,000	
利息	1,000	
大会準備貸付金返金	200,000	
前年度繰越金	1,649,026	
収入合計	4,350,026	
支出		
会誌印刷費 18(1)	380,000	
会誌印刷費 18(2)	380,000	
会誌印刷費 19(1)	380,000	
会誌印刷費 19(2)	380,000	
会誌郵送費 17(2)	38,000	2009年10月発送
会誌郵送費 18(1)	38,000	
会誌郵送費 18(2)	38,000	
会誌郵送費 19(1)	38,000	
会誌郵送費 19(2)	38,000	
会誌・バックナンバー郵送費	15,000	
ニュース紙等郵送費	76,000	大会案内ニュースレター発行費2回分
郵送費	43,000	
郵送補助(人件費)	120,000	
一般事務経費	60,000	
幹事会出席旅費	305,000	会計監査旅費, 幹事会旅費(東京3回)
封筒印刷費	80,000	
2010年度大会準備金	100,000	2010年10月21日振込
2010年度大会準備貸付金	100,000	2010年10月21日振込
2011年度大会準備金	100,000	
2011年度大会準備貸付金	100,000	
支出合計	2,809,000	
次年度繰越金(予備費)	1,541,026	

3. 第7回奨励賞

奨励賞の改正案を検討しているため、第7回奨励賞は審査を実施しなかったことが報告された。

4. 会員の除名

会費の長期滞納により6名の会員について、2009年12月15日まで納入がない場合は除名することとした。

審議事項

1. 2010年度事業計画

1-1. 庶務

1) 2010年度評議員会を2009年11月6日(金)、総会を2009年11月8日(日)、熊本大学において開催する。

1-2. 広報・渉外

1) ニュースレターを編集・刊行し、メーリングリストによる配信を実施する。

2) ホームページの管理と更新を行なう。

3) 会誌「植生史研究」に掲載する企業広告を募集する。

1-3. 編集

1) 会誌「植生史研究」第18巻第1号・第2号、第19巻第1号・第2号を編集・刊行する。

1-4. 行事

1) 第24回大会を2009年11月6日(金)・7日(土)・8日(日)、熊本大学において開催する。

大会実行委員長：甲元眞之。大会実行委員：小畑弘己、宮縁育夫、仙波靖子、佐々木由香、佐々木尚子。

2) 第30回談話会を2009年11月8日(日)・9日(月)、熊本県阿蘇市において開催する。

テーマ：阿蘇の草原の歴史を探る。

案内者：宮縁育夫・佐々木尚子・小畑弘己。

3) 第25回大会を2010年11月27日(土)・28日(日)、名古屋大学において開催すべく準備する。

大会実行委員長：中村俊夫。大会実行委員：南 雅代、山本直人、近藤 敏、藤井理恵。

4) 第31回談話会を2010年7月17日(土)・18日(日)、中央大学において開催すべく準備する。

テーマ：「植生史研究のための室内実験法4－遺跡出土木材の切片作製と同定－」

講師：能城修一。世話人：西田治文、近藤 敏。

2. 2010年度予算案

前頁参照。

賛成多数で承認された。

3. 奨励賞の改正および論文賞の新設

奨励賞の改正と論文賞の新設について、幹事会案が総会

出席者の3分の2以上の賛成を得て承認された。これに伴い表彰規程を一部改正した。

4. 学会費の改定

学会費の改定案を審議し、総会出席者の3分の2以上の賛成を得て承認された。これに伴い会則を一部改正した。

5. 自然史学会連合への加入

自然史学会連合への加入が賛成多数で承認された。

6. メタセコイアシンポジウム準備委員会の設置

会則第7条bに基づき、第3回国際メタセコイアシンポジウム準備のための委員会を設置した。本委員会の委員長を鈴木三男会員に委嘱した。

7. 会計監査の選出

第7期会計監査に江口誠一会員が推薦され、賛成多数で承認された。

第47回(2010年度第2回)幹事会議事要録

日時：2009年12月10日(木)13:30～17:00

場所：中央大学理工学部教養生物学実験室2502教室

出席者：南木会長、西田事務局長、那須庶務幹事、工藤会計幹事、佐々木広報・渉外幹事、能城編集委員長、近藤行事委員長

報告事項

1. 総会報告：2010年度総会において、会費の改正、表彰規程の改正、自然史学会連合への加入について承認されたことが報告された。

2. 会員動向：2009年11月5日現在の会員数が報告された(名誉会員3名、賛助会員1社、一般会員370名、学生会員32名、団体会員8団体)。

3. 会費長期滞納者への対応：2007年度より3年分滞納の9名が報告され、督促状を送付することにした。

4. 植生史研究の編集状況：第18巻第1号以降について、現在、受理論文が1本、査読中論文が6本あり、執筆予定の論文が5本あることが報告された。

5. 第24回大会報告：第24回大会の収支と参加人数が報告された。参加人数は109名(一般89名、学生20名)で、公開シンポジウムの一般参加者は17名。

6. 学術著作権協会の名称変更：学術著作権協会が一般社団法人に名称変更したことが報告された。これに伴い、会誌の記載内容も変更することにした。

7. メーリングリスト登録状況：ニュースレターのメール発送のためのアドレス登録状況が報告された。登録されていない会員が134名あることが報告され、幹事会で再

度呼びかけることにした。ただし、これ以上会員全員への登録呼び掛けは実施しないことにし、希望者は随時登録することとした。

8. バックナンバー販売:3巻2号の残部が無くなったため、バックナンバーセット販売の内容を一部変更することにした。

審議事項

1. 奨励賞：奨励賞の内規の改正案および応募要項について審議した。
2. 学会賞：学会賞の内規の改正案および応募要項について審議した。
3. 論文賞：論文賞の内規の改正案および審査対象論文の発行期間について審議した。
4. 大会運営について：大会運営の取り決めについて曖昧な点が浮上したため、新たに取り決めを作ることにした。
5. 談話会（巡検）の保険加入について：野外巡検形式で談話会を実施する場合、参加者全員にレジャー保険等に入ってもらうことにした。
6. 第31回談話会について：第31回談話会「植生史解明のための室内実験法4—遺跡出土木材の切片作製と同一」の詳細を打ち合わせた。
7. 第25回大会について：第25回名古屋大会の準備およびシンポジウム、巡検案について打ち合わせを行った。
8. 第26回大会について：第26回大会の候補地案を検討した。
9. IPC/IOPC 日本開催に向けた英文書籍出版について：2012年開催予定のIPC/IOPCに際し、日本の植生史研究を紹介した英文の書籍を発行してはどうかとの案が出された。
10. IPC/IOPCの準備委員会について：IPC/IOPCが2012年8月22日～30日に開催されることが決定したのを受けて、植生史学会内での準備委員会を立ち上げることにして議論した。
11. 自然史学会連合加入について：2010年度総会で自然史学会連合への加入が承認されたことを受けて、加入のための手続きを行うことにした。
12. 学会事務委託について：2010年度総会にて会費の改正が承認されたのを受けて、2011年度から学会事務委託を開始すべく、準備を進めることにした。

第48回（2010年度第3回）幹事会議事要録

日時：2010年4月17日（土）13:30～17:00

場所：中央大学理工学部教養生物学実験室 2502 教室

出席者：南木会長、西田事務局長、那須庶務幹事、工藤会計幹事、佐々木広報・渉外幹事、能城編集委員長、近藤

行事委員長

報告事項

1. 会員動向：2010年4月15日現在の会員数が報告された（名誉会員3名、賛助会員1社、一般会員359名、学生会員32名、団体会員8団体）。
2. 会費長期滞納者への対応：2006年度より5年分滞納の3名については、数回にわたって書面等で会費納入を呼び掛けたが、12月18日までに納入がなかったため除名した。
3. 植生史研究の編集状況：現在受理論文が4本、査読中論文が4本あることが報告された。次号は6月までに発行予定。依然として投稿数が少ないので会員への積極的な投稿を呼びかける必要がある。
4. 事務局名称について：4月から庶務幹事の所属先の名称が「葉山高等研究センター」より「学融合推進センター」に変更になった。そのため、学会事務局の名称も変更する必要が生じるが、10月より学会事務を業者に委託する予定であり、ここでも事務局名称を変更するため、学会誌や封筒に記載の連絡先は旧名称を引き続き利用することにした。

審議事項

1. 第25回大会について：第25回大会の準備状況が報告され、大会実行委員会での決定事項について審議した。
2. 第31回談話会について：第31回談話会「植生史解明のための室内実験法4—遺跡出土木材の切片作製と同一」の詳細を打ち合わせた。
3. 第26回大会について：第26回大会の候補地案を検討した。
4. 奨励賞について：奨励賞の応募数が少ないため、締切り前に再度メーリングリストで告知し、積極的な推薦を呼びかけることにした。
5. 学会事務委託について：次年度予定の学会事務委託について、契約書案を審議した。次回幹事会で業務内容の詳細を直接確認してから契約することにした。
6. ニュースレターについて：次号4月末日配信予定のニュースレター掲載内容について審議した。
7. IPC/IOPCの準備委員会について：IPC/IOPC準備委員会の人選とセッションや巡検案を検討していくことにした。
8. バックナンバーについて：バックナンバーセット販売の内容を変更することにした。

学会費改定のおしらせ

皆様には、これまでの本学会に対するご支援と、植生史研究における熱意に対して、あらためて御礼を申し上げます。おかげさまで、熊本大会は120名を超える参加者を数

え、10名の新会員を迎えることもできました。しかしながら、昨今の会務処理の増加は、本学会を支える事務局担当者にも大きな負担となっていること、財政状況も逼迫していることから、会費の値上げをお願いせざるを得ない状況となりました。値上げ分の多くは、会務の外部委託に当てられることとなります。

2010年度総会において会務の外部委託と学会費の改定案が審議され、総会出席者の3分の2以上の賛成を得て承認されました。これに伴い会則を一部改正しました。皆様におかれましては、何卒事情をご賢察の上、変わらぬ植生史研究への情熱のもと、本学会への積極的な参加を継続していただけるよう、お願いを申し上げます。

新しい会費は2010年度(2009年10月1日～2010年9月30日)の会費より適用されます。2010年度会費の早期納付にご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。

日本植生史学会会費(2010年度より)

一般会員：6000円、学生会員：3000円、団体会員：8000円

賛助会員：一口15,000円とし一口以上とする。

会費納付先：郵便振替口座：00980-8-70087、加入者名：日本植生史学会

会員動向(2009年9月～2010年5月)

新入会員

中堀謙二(一般) 信州大学農学部森林科学科
山本悦世(一般) 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
佐藤英美(学生) 新潟大学大学院自然科学研究科
今井千穂(学生) 首都大学東京大学院人文科学研究科
李作婷(学生) 九州大学考古学研究室
遠藤栄子(学生) 首都大学東京大学院人文科学研究科
中村直子(一般) 鹿児島大学埋蔵文化財調査室

真邊彩(学生) 鹿児島大学大学院人文科学研究科
大西智和(一般) 鹿児島国際大学国際文化学部
金原正子(一般) (株)古環境研究所
金帛範(一般) 東京大学大学院新領域創成科学研究科
高瀬克範(一般) 明治大学文学部
金民玖(一般) Chonnam National University, Department of Anthropology
神川建彦(一般) NPO 初島森林植物園ネットワーク
加藤亮(学生) 愛知工業大学
西城潔(一般) 宮城教育大学教育学部
堀川久美子(一般) 日立システムアンドサービス
古市真美(学生) 東京大学大学院新領域創成科学研究科
竹本仁美(学生) 広島大学大学院文学研究科
千葉敏朗(一般) 東村山市教育委員会

退会会員

片村文崇、飯野敦子、三川一秋、海津正倫、上野雄規、坂下貴則、岡田俊子、鳥居厚志、三田村宗樹、安田喜憲、松本完、佐々木寧、撫養健至、原秀禎、高田順

第7期日本植生史学会役員

(任期：2009年10月1日～2012年度大会)

会長：南木睦彦

評議員：高原光、百原新、鈴木三男、植村和彦、松下まり子

幹事：西田治文(事務局長)、那須浩郎(庶務)、工藤雄一郎(会計)、佐々木由香(広報・渉外)

編集委員会：能城修一(委員長)、大井信夫(副委員長)

行事委員会：近藤敏(委員長)、藤井理恵(副委員長)